

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育内容指導法（言葉）						授業形態		講義	
科目コード	750070	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美								ICT活 用	○
授業概要	この授業は、言葉を育む保育・幼児教育の営みを理論的・実践的に検討するための視点を得ることを目的としています。授業では、テーマを次の3つに大別し、これらについて研究理論や具体的な実践例を紹介しながら学びます。 （１）三法令（幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領）における領域「言葉」 （２）言葉の育つ道筋と保育者のかかわり （３）指導計画作成と改善の視点									
関連する科目	事前に「保育教育課程論」「保育の計画と評価」「保育内容総論」を受講しておくことが望ましい。 履修後に「保育実習指導」「保育実習」「教育実習事前事後指導（幼）」「教育実習（幼）」を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。 授業の前半では、各テーマについての講義を行います。 【知識・理解の獲得】 後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。必要に応じて、レポートや小テストにより学習状況を確認します。 【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】 毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。 【態度・志向性の育成】 なお、毎時間後に作成する学習の記録はWeb 上で作成し、学習進捗の確認及びそのフィードバックを行います。 講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロファイル上で行います。									
授業計画 【第1回】	人と「ことば」のかかわりを考える 人にとっての言葉とは何か、ワークショップを通して学びます。									
授業計画 【第2回】	三法令における領域「言葉」 ①保育・幼児教育の基本、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 保育・幼児教育の基本について理解し、領域「言葉」におけるねらいと保育内容について学びます。									
授業計画 【第3回】	三法令における領域「言葉」 ②領域「言葉」のねらいと内容 保育・幼児教育の基本について理解し、領域「言葉」におけるねらいと保育内容について学びます。									
授業計画 【第4回】	言葉の育つ道筋と保育者のかかわり ①言葉の前の言葉（0歳児） 乳幼児が言葉を獲得していく発達過程を理解し、各段階における遊びと言葉の育ちの関係について学びます。									
授業計画 【第5回】	言葉の育つ道筋と保育者のかかわり ②言葉を話せるようになってから（1・2歳児） 乳幼児が言葉を獲得していく発達過程を理解し、各段階における遊びと言葉の育ちの関係について学びます。									
授業計画 【第6回】	言葉の育つ道筋と保育者のかかわり ③3歳児の言葉 乳幼児が言葉を獲得していく発達過程を理解し、各段階における遊びと言葉の育ちの関係について学びます。									
授業計画 【第7回】	言葉の育つ道筋と保育者のかかわり ④4歳児の言葉 乳幼児が言葉を獲得していく発達過程を理解し、各段階における遊びと言葉の育ちの関係について学びます。									
授業計画 【第8回】	言葉の育つ道筋と保育者のかかわり ⑤5歳児・1年生の言葉 乳幼児が言葉を獲得していく発達過程を理解し、各段階における遊びと言葉の育ちの関係について学びます。									
授業計画 【第9回】	言葉を育てる遊び ①児童文化 豊かな言葉を育む児童文化財を知り、言葉を育てる遊びについて考えます。									
授業計画 【第10回】	言葉を育てる遊び ②読み聞かせ 豊かな言葉を育む児童文化財を知り、言葉を育てる遊びについて考えます。									

授業計画 【第11回】	言葉を育てる遊び ③教材研究 豊かな言葉を育む児童文化財を知り、言葉を育てる遊びについて考えます。
授業計画 【第12回】	指導計画と言葉 ①事例研究及び指導案の立案 言葉の育ちを促す援助について考え、指導案を作成します。 作成した指導案をもとに、保育計画とその実践について検討します。
授業計画 【第13回】	指導計画と言葉 ②模擬保育とその振り返り 言葉の育ちを促す援助について考え、指導案を作成します。 作成した指導案をもとに、保育計画とその実践について検討します。
授業計画 【第14回】	学校教育につなぐ言葉の育ち 保育内容と教科内容の違いを知り、小学校入学までに、言葉についてどのような配慮が必要が考えます。
授業計画 【第15回】	言葉をめぐる課題 社会の変化を捉え、子どもと言葉の諸問題について考えます。
授業の到達目標	1. 保育・幼児教育の基本を理解し、育みたい資質・能力を理解している。 【知識・技能の育成】 2. 領域「言葉」のねらい及び内容を理解している。 【知識・技能の育成】 3. 乳幼児が言葉を獲得していく発達過程を理解している。 【知識・技能の育成】 4. 言葉によって育まれる力を理解し、それらを育むための保育者の指導や支援のあり方について、検討することができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	授業時に予習教材を提示します。次の授業までに確認してください。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業後には、授業の要点を整理するとともに、「学習の記録」に自らが記した「問い」について、関連した図書・資料などを読み、自身の考えを深めてください。(30分程度)
課題に対する フィードバック	小テスト・レポート・最終試験は、評価後、解説します。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み(学習の記録) 20点 レポート 30点 最終試験 50点
テキスト	『保育内容「言葉」と指導法』斎藤政子編(2023)中央法規、(2,200円+税) 『保育所保育指針解説』厚生労働省(2017)フレーベル館、(320円+税) 『幼稚園教育要領解説』文部科学省(2017)フレーベル館、(240円+税) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省(2017)フレーベル館、(350円+税)
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する。
備考	